

9月定例県議会 終わる

県庁不正経理で幕を開け、民主党政権の大臣発言でミキサーにかけられた9月定例県議会も10月22日に閉会しました。

閉会議では、発議案（各会派から提出された意見書）の賛否討論、発議案やいろいろな団体から提出された請願の採決が行われます。

閉会議で 川本さんは「全国学力テストの継続とさらなる充実を求める意見書」の反対討論をしました。

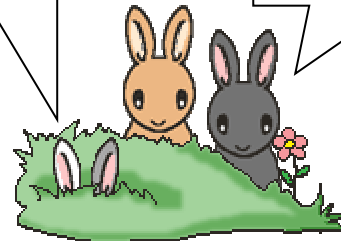


日本のこの「学力低下」の問題は、実際は「全体の学力低下」ではなく、**学力の低い子どもたちの学力がより低下した**ことによるものであることに留意する必要があります。（一部抜粋）

実際に、教育の格差を感じます。小学校での基礎を、小学校でしっかり分かるように教えてもらえる環境を整えてほしいなあ。

分からないから学校も面白くない。

どうして、教育の格差が生れるのか、その背景も考えてみよう。



県庁の不正経理問題のため、17名の議員で構成される「不正経理特別委員会」が設置され、川本さんが委員になり、閉会の後、第1回目が開催されました。

「不正経理特別委員会」は、一般傍聴ができます。ぜひ、『県民は見ています！』と監視に来てください。

しっかりとした情報収集の上、的をとらえた川本さんの追求に、県庁職員がいかにか答えるか、目が話せませんね。

第2回「不正経理特別委員会」
11月20日（金）午後1時から



2009年10月25日 文責：しむら